

≫≫ お知らせ

展覧会のご案内

☆茅ヶ崎市美術館『音二郎没後100年・貞奴生誕140年記念 川上音二郎・貞奴展』

2011年9月10日(土)～11月27日(日)、神奈川県茅ヶ崎市の茅ヶ崎市美術館で、明治期に新しい演劇を目指して国内外に広く活躍した川上音二郎・貞奴を中心にした展覧会が開かれます。

松竹大谷図書館にて所蔵していた資料より、アメリカ公演中、困窮する川上一座をなにかと支援したアメリカ在住の画家、青木年雄に当てた書簡類などが発見され、今回初めて展示されます。

『演劇界』2011年9月号の河竹登志夫先生によるコラム「かぶき曼陀羅」、『芸術新潮』2011年9月号の「art news」、朝日新聞2011年1月22日夕刊などでも大きく取り上げられ、資料として注目されています。

☆山種美術館『知られざる歌舞伎座の名画展』

2011年9月17日～11月6日、日本画の専門美術館として名高い山種美術館では、歌舞伎座の各所に飾られていた絵画をはじめ、普段は目にする機会の無かった美術品が一堂に展示されます。

松竹大谷図書館からも、重要美術品である『かぶきのさうし』をはじめ、文化人、俳優などの寄せ書きや扇面屏風、六代目中村歌右衛門丈の楽屋の欄間の『紅白梅図』などを出展いたします。ことに『かぶきのさうし』は昨年の補修後初めての出展となります。色鮮やかさを取り戻した17世紀の絵本をぜひご覧ください。

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『劇場版テニスの王子様 英国式庭球城決戦!』	○		○		○

■ 映画プログラム ■

『ツリー・オブ・ライフ』	『カンフー・パンダ2』	『シャンハイ』
『ハンナ』	『くまのプーさん』	『レオニー』
『軽蔑』	『戦火の中へ』	『漫オギャング』
『劇場版そらのおとしもの 時計じかけの哀女神 (エンジェロイド)』		『ミックマック』
『HAYABUSA -BACK TO THE EARTH-』		『ドライブ・アングリー3D』
『劇場版 NARUTO-ナルト- ブラッド・プリズン』		『ロック ～わんこの島～』
『モールス』	『黄色い星の子供たち』	『デビル』
『カーズ2』	『トランスフォーマー/ダークサイド・ムーン』	
『劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ/ビクティニと黒き英雄 ゼクロム』	『劇場版ポケットモンスター ベストウイッシュ/ビクティニと白き英雄 レシラム』	

(新規登録資料案内 続き)

■ 松竹系 8月公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
新橋演舞場	『花魁草』	○	○	○	○
	『伊達娘恋緋鹿子 櫓のお七』	○	○		
	『東雲烏恋真似琴』	○	○		
	『夏 魂まつり』		○		
	『宿の月』	○	○		
	『怪談乳房榎』	○	○		
松竹座(大阪)	『少年たち』	○			
南座(京都)	『恋のきつねうどん』			○	○
	『二人のオンステージ』				
平安神宮	京の七夕歌舞伎 坂東玉三郎			○	

ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします

■ 他社公演資料 ■

青山円形劇場	7月	『岸家の夏』プログラム
赤坂ACTシアター	7月	『ミュージカル 嵐が丘』プログラム、台本
大阪新歌舞伎座	7月	『前進座劇場・松井誠提携歌舞伎公演』プログラム 『中村美律子デビュー25周年記念公演』プログラム
神奈川芸術劇場ホール	8月	『新舟木一夫特別公演』プログラム、台本
	8月	『杉本文楽 曾根崎心中』プログラム、台本
川崎市アートセンターアルテリオ小劇場	7月	『アンネの日記』プログラム
紀伊國屋サザンシアター	7月	『秘密はうたう』プログラム、台本
国立劇場小劇場	7月	『はじめての邦楽 親子で楽しむ日本の音』プログラム 『邦楽へのいざない はじめての邦楽』プログラム
	8月	『第十三回音の会』プログラム 『花形・名作舞踊鑑賞会 涼を求めて』プログラム 『第十七回稚魚の会・歌舞伎会合同公演』プログラム
	8月	『第九回亀治郎の会』プログラム、台本
国立劇場大劇場	8月	『第九回亀治郎の会』プログラム、台本
国立文楽劇場	7月	『第14回文楽素浄瑠璃の会』プログラム 『夏休み文楽特別公演』プログラム
ザ・スズナリ	7月	『無重カチルドレン』プログラム 『ゆすり』プログラム
		『家には高い木があった』プログラム
シアタークリエ	7月	『ニッポン無責任新世代』プログラム
シアタートラム	7月	『荒野に立つ』プログラム
渋谷区文化総合センター大和田さくらホール	7月	『冬物語』プログラム、台本
テアトルエコー	7月	『ひなあられ』プログラム
帝国劇場	7月	『ミュージカル 三銃士』プログラム
日経ホール	7月	『イッセー尾形一人芝居 わたしの大手町』プログラム
日本橋劇場	8月	『趣向の華 特別公演』プログラム
博多座	8月	『宝塚歌劇星組・博多座公演』プログラム、ポスター
博品館劇場	7月	『ハイリスクHigh School』プログラム 『第25回夏休みこども舞踊フェスティバル』プログラム
		『もりのへなそうる』『ふしぎな箱』プログラム
プーク人形劇場	7月	『奥様お尻をどうぞ』プログラム
本多劇場	7月	『滝沢家の内乱』プログラム
		『好色一代男』プログラム
御園座	8月	『好色一代男』プログラム
八千代座(熊本)	7月	『坂東玉三郎チャリティ・コンサート』プログラム

(新規登録資料案内 続き)

■ 演劇雑誌 ■

『a a f 通信』2011年9月

『あぜくら』平成23年8月号

『文楽通信』2011年14号

『文楽通信かわら版』7号

『舞踊芸術』2011年8月号

『Confetti』2011年OCTOBER Vol. 82

『伝統文化新聞』2011年(63号)

『演劇界』2011年9月号

〔《特集》歌舞伎の未来へー今、歌舞伎にできることー／中村芝翫／中村福助×尾上菊之助／中村梅枝×中村萬太郎×中村隼人／中村橋之助×G2 《インタビュー》中村翫雀・壱太郎〕

『悲劇喜劇』2011年9月号

〔《特集》2011年上半期演劇界の収穫 《インタビュー》市川亀治郎／城田優 《掲載戯曲》『荒野に立つ』長塚圭史〕

『邦楽の友』平成23年9月号

『ほうおう』2011年10月号

〔《インタビュー》中村吉右衛門／中村種太郎 《特集》新派四季『女の一生』記者懇親会レポート〕

『ジ・アトレ』2011年5月、8月

『ジョイン』2011 Jul. No. 72

〔《特集》二村周作／東北の演劇の今「震災後の報告」／劇場という名の文明(27) 神戸アートビレッジセンター／ワークショップで経験交流 教育に生かす演劇ワークショップ〕

『ジョイン』別冊2010年度学校公演上演記録(2010年4月ー2011年3月)

『上方芸能』2011年9月(181号)〔《特集》大正100年ー去るもの来たもの〕

『喝采』2011年11月〔《特集》11月公演：錦秋博多座大歌舞伎 市川團十郎インタビュー〕

『喝采』2011年11月特別号〔《特集》11月公演：「アマデウス」〕

『国立演芸場公演ガイド』平成23年9月号

『日本芸術文化振興会ニュース』平成23年9月号

『日本照明家協会雑誌』2011年8月号

〔《インタビュー》大前英樹さんに聞く 《特集》平成23年度玉川大学芸術学部開講科目インターンシップ「スペイン・ポルトガル公演記」／横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール〕

『日本舞踊』63巻9月号

〔《特集》秘曲・新曲サロン 箏曲 那須野／舞踊写真教室 大和楽 宮戸川／曲のこころ「花鳥の譜」〕

『大向う』平成23年8月号、9月号

『ラ・アルプ』2011年9月号

〔《特集》『コーラスライン』東京公演決定！／『ユタと不思議な仲間たち』東北特別招待公演／『キャッツ』日本通算公演回数8000回記念特別企画スタート／ACTOR'S TIME 菊池正〕

『SePT倶楽部 information』2011年6月号、8月号

『シアターガイド』2011年10月号

〔《特集》劇団☆新感線「髑髏城の七人」小栗旬&森山未來 早乙女太一 仲里依紗 中島かずき／「ロミオ&ジュリエット」城田優&山崎育三郎／「秀山祭九月大歌舞伎」中村種太郎改め四代目中村歌昇〕

『THE昴』2011年8月No. 21

『テアトロ』2011年9月号

〔《特集》[戦争×演劇] ~劇作家から、戦争をみつめる~／追悼・さようなら、安井武さん 《掲載戯曲》「無重力チルドレン」はせひろいち／「姑は推理作家」池田政之〕

(新規登録資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

『アウラ』2011年205号

〔《特集》緊急レポート アナログ停波で迎えるテレビ新時代／アイドルとファンの関係2011〕

『ドラマ』2011年9月号

〔《インタビュー》第29回「向田邦子賞」受賞 宮藤官九郎 《掲載シナリオ》『ウルトラマンマックス M3 2星雲のアダムとイブ』藤川桂介／『スイートプリキュア♪ヒュ〜ドロ〜！エレンの弱点見〜つけたニャ！』小林雄次／『向田邦子ドラマ 胡桃の部屋』1～2回 篠崎絵里子〕

『映画テレビ技術』2011年9月号

〔《特集》「医者として～映像と証言で綴る農村医療の戦後史～」制作ノート／映画『極道めし』前田哲 監督に聞く／台湾映画製作事情／立体映像新時代 第2次立体映画ブーム〕

『映画芸術』2011年夏号(436号)

〔《特集》震災異論／「サウダーヂ」／「監督失格」／「おんなの河童」／「一枚のハガキ」〕

『映画撮影』2011 Aug No. 190

〔《特集》撮影報告：『天国からのエール』／『一枚のハガキ』／『東京公園』／『青空どろぼう』／『大丈夫。一小児科医・細谷亮太のコトバー』〕

『映画時報』2011年8月号

〔《インタビュー》映画演劇文化協会 高橋昌治映画演劇文化協会副会長 《特集》2011年上半期の邦・洋13社興行実績／松竹・東宝・東映アニメの第1四半期決算〕

『映画秘宝』2011年9月号

〔《特集》完全保存版！「怖い映画」100！／映画は顔で観ろ！？信頼できる役者ランキング！／「トランスフォーマー／ダークサイド・ムーン」〕

『映画秘宝』2011年10月号

〔《特集》バイオレンス・アクション映画クロニクル／原田芳雄追悼／『監督失格』〕

『衛星劇場プログラムガイド』2011年9月号

『FLIX』2011年10月号

〔《特集》世界を変える 向井理／山田涼介×知念侑李／松坂桃李／市原隼人×戸田絵梨香〕

『キネマ旬報』2011年8月下旬号

〔《特集》家族という幻視 テレンス・マリックの壮大「ツリー・オブ・ライフ」／新藤兼人「一枚のハガキ」／ピーター・フォークの本音／SF映画の地球史回顧対談 三留まゆみ×山下慧／渡辺謙〕

『キネマ旬報』2011年9月上旬号

〔《特集》和田誠の映画の特集 和田誠ロングインタビュー／ロマン・ポランスキー 世界で最もスキャンダラスな巨匠／加賀まりこ／櫻井翔〕

『ムービー・スター』2011年10月号

〔《特集》女子が好きな女優ギャラリー 今流行の女の子はこの子！／ブレイク・ライヴリー／エマ・ワトソン／アナリン・マッコード／マイリー・サイラス／アシュレイ・ティスデイル〕

『NFCニューズレター』2011年8月～9月号

〔《特集》3D映画の歴史／FIAFプレトリア会議報告〕

『NFCカレンダー』2011年9月号、10月号

『日経エンタテインメント!』2011年9月号

〔《特集》作家&マンガ家最新ランキング150 《インタビュー》櫻井翔×宮崎あおい〕

『ピクトアップ』2011年10月号72号

〔《特集》『神様のカルテ』が秘めたマジック 櫻井翔 宮崎あおい 深川栄洋／大泉洋×松田龍平〕

『SCREEN』2011年10月号

〔《特集》2011～2012本命映画先取り大紹介／「ハリー・ポッター」ロンドン&NYイベントとキャスト・インタビュー／これがいま最もSEXYな男優&女優だ！〕

『シナリオ』2011年10月号

〔《掲載シナリオ》『極道めし』羽原大介 前田哲／『UNDERWATER LOVE ーおんなの河童ー』守屋文雄 いまおかしんじ〕

『シナリオ教室』2011年9月号

〔《インタビュー》ドラマ『マルモのおきて』を書いて 櫻井剛 《掲載シナリオ》第11回「テレビ朝日21世紀新人シナリオ大賞」受賞作：優秀賞『リンドウの花』内田静／優秀賞『異心伝心』本田隆朗〕

(新規登録資料案内 続き)

■ 書 籍 ■

『歌舞伎<通説>の検証』	今尾哲也 (著)	法政大学出版局
『歌舞伎はこう見る! 椿説歌舞伎観劇談義』	快樂亭ブラック (著)	彩流社
『勘三郎、荒ぶる』	小松成美 (著)	幻冬舎
『組上燈籠 祇園祭礼信仰記 金閣寺の場 復刻版』		玉川大学出版部
『元気な時代、それは山口百恵です 31日間の現在写真論』	篠山紀信 (著)	講談社
『帝劇ワンダーランド 帝国劇場開場100周年記念読本』	東宝演劇部 (監修)	ぴあ
『日本映画は生きている 全8巻』		岩波書店
『三重県文化会館閉館記念誌 32年のあゆみ』	三重県文化会館 (編)	三重県文化会館
『道志村の地歌舞伎』		道志村
『劇場空間への誘い ドラマチック・シアターの楽しみ』	日本建築学会 (編)	鹿島出版会
『この人から受け継ぐもの』	井上ひさし (著)	岩波書店
『歿 映画人忌辰抄』	浦崎浩實 (著)	ワイズ出版
『山田洋次映画を創る 立命館大学・山田塾の軌跡』	山田洋次+富田美香 (編著)	新日本出版社
『大系黒澤明 第4巻』	黒澤明 (著)、浜野保樹 (編+解説)	講談社
『市川海老蔵 眼には見えない大切なもの』	G r a z i a 編集部 (編)	講談社
『新日本現代演劇史 第1巻』	大笹吉雄 (著)	中央公論新社
『THEATRE YEAR - BOOK 2011』		国際演劇協会日本センター
『映画のなかの古典芸能』	神山彰+児玉竜一 (編著)	森話社
『蔵出しこれ! クション 郷土天文館収蔵資料より』		中央区立郷土天文館
『最後の日本人』	斎藤明美 (著)	清流出版
『ときめきのイセザキ140年 盛り場からみる横浜庶民文化』		横浜開港資料館
『成田山深川不動堂三百年史』		成田山東京別院深川不動堂
『博多座誕生物語 元専務が明かす舞台裏』	草場隆 (著)	花乱社
『評論演劇放浪記 演劇の軌跡と展開』	藤田洋 (著)	たちばな出版
『福田恆存戯曲全集: 別巻』	福田恆存 (著)	文藝春秋
『舞台芸術交流年鑑'08-'09』		国際舞台芸術交流センター
『歌舞伎一期一会 常磐津一巴太夫素語り』	常磐津一巴太夫 (著)	N T T 出版
『坂田藤十郎 扇千景 夫婦の履歴書』	坂田藤十郎 - 4世+扇千景 (著)	日本経済新聞社
『Note 増補 1969-2001』	蜷川幸雄 (著)	河出書房新社
『ぴあ総研エンタテインメント白書2008』		ぴあ総合研究所

● 所蔵資料展示案内 ●

第14回「中村又五郎」関連資料

展示期間：2011年8月22日～9月28日
於：松竹大谷図書館閲覧室

9月の所蔵資料展示は、前号予告の通り、新橋演舞場9月公演の三代目中村又五郎襲名披露を記念し、初代から三代まで中村又五郎に関連した資料を展示しております。

初代又五郎(明治18年[1885]～大正9年[1920])は京都に生まれ、大阪で子役として活躍しますが、明治30年に父・中村紫琴を亡くした事もあり翌年上京、新富座の子供芝居に参加して人気を博します。その後二世市川左團次の一座に加わりますが、大正6年の浅草公園劇場開場時より、座頭格として出演するようになります。「新演芸」に掲載された、大正6年4月浅草公演劇場『恋飛脚大和往来』のグラビアは、開場公演の時のもので、小さい劇場ながら人気の役者が見ら



れるというので評判の舞台でした。その後も公園劇場を中心に活躍しますが、大正9年に35歳で夭折しました。

二代目又五郎(大正3年[1914]~平成21年[2009])は初代の長男です。大正10年、6歳で又五郎を襲名し、初代中村吉右衛門の元で修行を始めます。以来平成の世まで長い舞台人生を送り、歌舞伎界に欠かせない俳優、また指導者として活躍しました。二代目又五郎というと品のいい老役が思い出されますが、今回は『義経千本桜』の小金吾、『菅原伝授手習鑑』の女房春など若い頃の写真も展示いたしました。古典での最後の役は、平成15年9月歌舞伎座上演の『天衣紛上野初花 河内山』の和泉屋清兵衛でしたが、平成21年、94歳の長寿で惜しまれつつ黄泉の人となりました。

三代目又五郎(昭和31年[1956]~)は、二代目又五郎が第二の父と思い慕った初代吉右衛門の弟で、三代目中村時蔵の孫にあたります。今回展示した平成2年国立劇場上演『彦山権現誓助剣 毛谷村六助住家の場』の演劇スチールには、後室お幸役の二代目又五郎、毛谷村六助役の三代目又五郎、と二代の又五郎が1つのアングルの中に写っています。いずれ娘婿とする六助(=三代目)を見つめる後室役の二代目の表情が今回の襲名を物語っているような写真です。

■「中村又五郎」関連資料展示一覧■

1. 『ほうおう』2003年3月号
役者インタビュー「父のこと」二代目中村又五郎
2. 『鳩の平右衛門』演劇スチール(大正14年[1925]3月邦楽座上演)
在所娘おてう(二代目中村又五郎)
3. 『義経千本桜 木の実・小金吾討死』演劇スチール(昭和23年[1948]2月東京劇場上演)
主馬小金吾(二代目中村又五郎)
4. 『菅原伝授手習鑑 賀の祝』演劇スチール(昭和24年[1949]4月東京劇場上演)
梅王丸女房春(二代目中村又五郎)
5. 『仮名手本忠臣蔵 鶴ヶ岡社頭兜改めの場』演劇スチール(昭和25年[1950]3月東京劇場上演)
足利佐兵衛直義(二代目中村又五郎)
6. 『仮名手本忠臣蔵 祇園一力茶屋の場』演劇スチール(昭和25年[1950]3月東京劇場上演)
大星力弥(二代目中村又五郎)
7. 『天衣紛上野初花 河内山 上州屋質見世の場』演劇スチール(平成15年[2003]9月歌舞伎座上演)
和泉屋清兵衛(二代目中村又五郎)
8. 『彦山権現誓助剣 毛谷村六助住家の場』演劇スチール(平成2年[1990]4月国立劇場上演)
後室お幸(二代目中村又五郎)・毛谷村六助(三代目中村歌昇=三代目中村又五郎)※撮影 森田拾史郎
9. 『鳥羽絵』演劇スチール(平成9年[1997]8月歌舞伎座上演)
下男升六(三代目中村歌昇=三代目中村又五郎)・ねずみ(四代目中村種太郎=四代目中村歌昇)
10. 『恋飛脚大和往来』新演芸」大正6年5月号グラビア(大正6年[1917]4月浅草公園劇場上演)
忠兵衛(初代中村又五郎)・梅川(市川吉三郎)
11. 『又五郎の春秋』池波正太郎著 中央公論社 1977年
12. 『中村又五郎歌舞伎ばなし』郡司道子著 講談社 1995年
13. 『芝居万華鏡』中村又五郎・山田五十鈴著 小池書院 1998年
14. 『雨の五郎』演劇スチール(昭和43年[1968]7月歌舞伎座上演)
曾我五郎時致(中村光輝=三代目中村又五郎)
15. 『新歌舞伎十八番の内 紅葉狩』演劇スチール(平成12年[2000]8月歌舞伎座上演)
余吾將軍平維茂(三代目中村歌昇=三代目中村又五郎)
16. 『平家女護島 俊寛』演劇スチール(平成15年[2003]9月歌舞伎座上演)
平判官康頼(三代目中村歌昇=三代目中村又五郎)

編集・発行 公益財団法人 松竹大谷図書館 〒104-0045 東京都中央区築地 1-13-1 ADK松竹スクエア3階
TEL 03-5550-1694 <http://www.shochiku.co.jp/shochiku-otani-toshokan/>